


分野	43	産業	通番 97
施策	431	商工業・観光の振興	
5年後の目標		都市活力の基盤を守る工業が元気で、商業・観光がもたらすにぎわいと交流に、まちがさらに活気づいている。	

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目		決算額(円)	担当課	
	創業支援事業		会計	款	項	51,728	商工観光課
			一般	7	1		
事業の概要							
<p>創業者の増加は市内商店の増加だけではなく、課題となっている空き店舗対策や、小売店増加による市民の生活基盤安定等、地域経済の活性化や生活基盤の安定にも繋がるものであることから、創業支援事業計画に基づいて、創業・起業希望者の支援を行います。</p>							

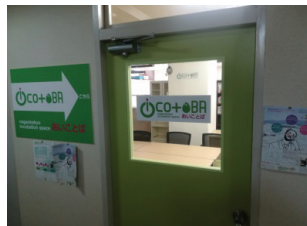
平成30年度の取組							
D (取組)	指標	新規創業相談者数(創業支援計画に基づく支援事業内容ごとの累計)				単位	人
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
	平成28年度 新規事業	目標	70	85	100	115	130
		実績	89	166	154		
	指標	新規創業者数(創業支援計画に基づく支援事業内容ごとの累計)				単位	人
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
平成28年度 新規事業	目標	25	30	35	40	43	
	実績	6	30	26			
<ul style="list-style-type: none"> ・創業支援機関と創業支援連絡会議を開催し、情報の共有化を図り、今後の事業展開について調整を図りました。 ・創業支援機関や市内先輩創業者等と連携のうえ、創業希望者を対象としたイベント(ビジネスカフェ)を3回開催しました。 ・ビジネスカフェの参加者3名がガラシャ祭にチャレンジショップとして出店しました。 					ビジネスカフェ 		

施策の「5年後の目標」に対する評価				
平成30年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁
		新たな起業家数 (新設・廃業)	・経済センサスについては、2年ごとの発表となっており、次回令和2年に発表の予定となっています。	206
	達成度合	B:目標をほぼ達成できた(目標の80%~100%程度)	<ul style="list-style-type: none"> ・女性交流支援センターなど市の関係部署や商工会、日本政策金融公庫、京都信用保証協会等と連携機関と共に、段階に応じた支援を行いました。 ・新規創業者数については、目標を下回っていますが、新規創業相談者数は目標を上回っており将来の新規創業につながる事が期待されます。 	
	課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と連携し、創業に興味を持たれている方を、具体的な準備段階につなげ、新規創業に結び付けることが必要です。 ・長岡京市創業支援計画期間が令和2年9月末で期限が終了するため、延長に向けた検討が必要となります。 		

目標達成に向けての次年度以降の対応		
A (行動)	方向性	対応策等
	1:計画通りに進めることが適当	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と連携し、創業に興味を持たれている方を、ビジネスカフェ等に参加してもらいます。地域クラウド交流会に登壇してもらうなど創業に向けたステップアップを具体的に実感できるような目標につなげ、新規創業に結び付けます。

分野	43	産業	通番 98
施策	431	商工業・観光の振興	
5年後の目標		都市活力の基盤を守る工業が元気で、商業・観光がもたらすにぎわいと交流に、まちがさらに活気づいている。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	商工会支援事業		会計	款	項	目	17,385,000	商工観光課
			一般	7	1	2		
事業の概要								
地域商工業の発展や、中小企業の育成を推進するため、商工会の組織強化と実施する経営指導や人材育成など各種事業を支援します。また、地域経済の活性化に向け、プレミアム付き商品券事業の継続と販路拡大に向けた取り組みへの支援を行います。								

平成30年度の取組							
D (取組)	指標	商工会員数				単位	人
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
		目標	1,140	1,150	1,140	1,150	1,160
	1,084 (平成26年度)	実績	1,112	904	868		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 中小企業者への経営改善指導、地域振興策への支援を行うため、経常的経費に12,251千円、特別事業費に5,134千円の支援を行いました。地域商工業の発展、中小企業育成を図りました。 ・ 新規創業者への創業支援について、創業機関連絡会議を開催し、各支援機関との情報共有や、今後の支援策について検討を行いました。 					インキュベーションスペース「あいことば」 		

施策の「5年後の目標」に対する評価					
平成30年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁	
	達成度合	市内民間事業所数・従業員数の推移	・ 経済センサスについては、2年ごとの発表となっており、次回令和年に発表の予定となっています。		206
		C: 目標の一部を達成できなかった	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成26年度から商工会が市内事業所の実態調査に着手し、その結果商工業者の資格を喪失した事業所が存在することが判明し商工業者数及び会員数の減少となりました。平成30年度において主に移転・廃業を理由とした退会会員が新規加入会員を上回ったことから、平成29年度に比べて36件の減少となりました。 ・ 第3回乙訓地域で働きたい方のための就職フェアを開催し、企業の手不足の解消につなげました。プレミアム付き商品券を発行し、子育て枠や建設券を設けました。応募多数で抽選になると好評で、域内の消費喚起につなげました。 	
課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 商工会会員増加により組織力強化を図り地域の活性化につなげる必要があります。 ・ 令和元年10月より、消費税10%が予定されており、その対策を早期に行う事、更なる経営改善に向けた取り組みを行っていくことが課題です。 				

目標達成に向けての次年度以降の対応	
方向性	対応策等
A (行動)	1: 計画通りに進めることが適当 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1事業所1回以上を目標とする巡回訪問を行い、経営支援を行い会員の増強に努めます。 ・ 創業塾などのセミナー等により創業支援により一層取り組み、会員増強に努めます。 ・ 長岡京ブランド検討事業の一環である”かしこネット”を活用した販路開拓への支援に取り組み、新たな会員獲得につなげます。

分野	43	産業	通番 99
施策	431	商工業・観光の振興	
5年後の目標		都市活力の基盤を守る工業が元気で、商業・観光がもたらすにぎわいと交流に、まちがさらに活気づいている。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	企業誘致の促進		会計	款	項	目	4,662,200	商工観光課
			一般	7	1	2		
事業の概要								
既存企業や事業所の動向を注視しつつ、京都府や各所管において情報共有を図るとともに誘致促進に向けた体制を整えます。また、長岡天神駅周辺まちづくり基本構想に基づく土地利用計画に沿った誘致政策に取り組みます。								


平成30年度の取組								
D (取組)	指標	企業進出に係る相談件数				単位	件	
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2	
	5(平成22～ 26年度累計)	目標	2(2) ※()内は期間累計		2(4)	3(7)	3(10)	4(14)
		実績	5(5)		1(6)	1(7)		
	指標	5年間で企業立地促進助成対象となった企業数(累計)				単位	件	
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2	
1(平成26年度単年度 助成対象企業数)	目標	1		1	2	3		
	実績	1		1	1			
<ul style="list-style-type: none"> ・長岡京市企業立地促進条例及び長岡京市企業立地促進条例施行規則において、対象地域については、阪急長岡天神周辺の近隣商業地域、阪急西山天王山駅周辺、業種については宿泊業を追加する一部改正を行いました。 ・長岡京市企業立地促進条例及び長岡京市企業立地促進条例施行規則の一部改正を実施するにあたり、企業立地審査会を2回開催しました。 ・長岡京市企業立地促進条例及び長岡京市企業立地促進条例施行規則に基づき助成金を交付しました。(参考) 地元雇用促進助成金4,600,000円 								

施策の「5年後の目標」に対する評価				
平成30年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁
		—	—	—
	達成度合	B: 目標をほぼ達成できた(目標の80%～100%程度)	達成状況	・企業立地に関する相談件数については目標値を下回りましたが、長岡京市企業立地促進条例及び長岡京市企業立地促進条例施行規則の一部改正を行い、企業誘致に向けた制度の充実を図りました。
	課題等	・企業の相談件数を増やし、企業立地促進助成対象となる新たな企業を指定していくことが課題です。		

目標達成に向けての次年度以降の対応	
A (行動)	方向性 1: 計画通りに進めることが適当 対応策等 ・まちづくり政策室等関係部署と連携しながら、阪急長岡天神駅及び阪急西山天王山駅周辺地域等への企業の誘致促進並びに宿泊施設の誘致を進めていきます。

分野	43	産業	通番 100
施策	431	商工業・観光の振興	
5年後の目標		都市活力の基盤を守る工業が元気で、商業・観光がもたらすにぎわいと交流に、まちがさらに活気づいている。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	産業文化会館維持・更新事業		会計	款	項	目	21,152,363	商工観光課
			一般	7	1	3		
事業の概要								
老朽化が著しい産業文化会館については、計画的に修繕を行い、安心安全な会館運営に取り組みます。市庁舎との複合化に向けた準備として複合化の際に求められる耐震化やバリアフリー化、利便性の向上に向けた検討を進めます。								


平成30年度の取組							
D (取組)	指標	産業文化会館年間利用者数				単位	人
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
	70,963 (平成22～26年度 5か年平均)	目標	71,000	71,000	71,000	71,000	71,000
		実績	80,960	69,436	69,975		
<ul style="list-style-type: none"> 今後の産業文化会館の在り方について、産業文化会館運営委員会を開催し、機能移転に向けた課題の整理を行いました。 料金の適正化に向けて、庁内で公共施設使用料・利用料金の改定調整会議を9回実施しました。 問合せや備品の故障等、日々の事象に対応する中で、安全性を重視し、優先順位を付けながら、修繕を実施しました。(産業文化会館北フェンス及び駐車券発行機雨除け修繕、トイレ修繕等) 					産業文化会館		
							

施策の「5年後の目標」に対する評価				
平成30年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	評価指標の傾向・トレンド		対応頁
		—	—	
達成度合	B: 目標をほぼ達成できた(目標の80%～100%程度)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度と平成30年度の利用者数についてはほぼ横ばいの状態です。 台風21号の影響を受けフェンスや駐車券発券機の雨除けなど臨時修繕を行いました。 複合施設へ統合するまでの産業文化会館の施設のあり方について具体化を図るため、個別施設計画を策定しました。 	
	課題等	<ul style="list-style-type: none"> 産業文化会館の老朽化が進む中、必要最小限の修繕を行っているのが現状です。 庁舎等再編整備基本計画に基づき、課題の整理を行っていく必要があります。 		

目標達成に向けての次年度以降の対応	
A (行動)	対応策等
1: 計画通りに進めることが適当	<ul style="list-style-type: none"> 個別施設計画に基づき、緊急性、安全性を重視し、引き続き計画的かつ効率的な修繕を行っていきます。 産業文化会館運営委員会を開催し、委員の方のご意見をお聞きしながら、今後の運営を行っていきます。

分野	43	産業	通番 101
施策	431	商工業・観光の振興	
5年後の目標		都市活力の基盤を守る工業が元気で、商業・観光がもたらすにぎわいと交流に、まちがさらに活気づいている。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	観光戦略プランの見直しと推進		会計	款	項	目	3,232,680	商工観光課
			一般	7	1	4		
事業の概要								
観光戦略プラン推進本部会議を本市の観光施策展開におけるシンクタンクと位置付け、マーケティング調査結果や各種事業結果の分析に基づいたアクションプログラムの見直しを行います。また、包括的な視点で進捗管理を行うことで、より魅力的なまちづくりと効果的な観光誘客促進につなげます。								


平成30年度の取組							
D (取組)	指標(H29年度～)	観光消費の向上に取り組む店舗・事業者数(累計)				単位	件
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
	平成28年度 新規事業	目標	観光戦略プラン及び アクションプログラム 見直し	20	40	60	80
		実績	新・長岡京市観光戦略 プランの策定	21	36		
<p>新・長岡京市観光戦略プランに掲げるアクションプログラムの着実な進行管理を行うため、長岡京市観光推進本部において、施策の実施状況等の把握、進捗管理を行いました。</p> <p>また、観光振興に取り組む事業所同士をマッチングし、チーム作りを行っていく場である「観光創造部会」を開催し、それぞれのチームで推進している観光振興の取組みについての情報共有を行った他、メンバーを対象とした勉強会を開催しました。</p>							

施策の「5年後の目標」に対する評価						
平成30年度の達成状況						
C (評価)	評価指標	関連する評価指標			評価指標の傾向・トレンド	対応頁
	観光入り込み客数・一人あたりの観光消費額(年間)	天候不順、主要観光拠点の改修工事等の外的要因により観光入込客は減少したものの、観光施設や各種団体によるSNS情報発信やインフラ整備に取り組んだ結果、観光消費額は向上しました。			205	
	達成度合 (目標の80%～100%程度)	達成状況	・新・長岡京市観光戦略プランに掲げる各種アクションプログラムに該当する観光振興の取組みをされている団体、事業所等に呼びかけ、観光創造部会メンバーを増やすことが出来ました。			
課題等	<p>・「新・長岡京市観光戦略プラン」を着実に推進するため、各主体がプランに沿った事業の目標達成管理を行えるよう「進捗管理手帖」を活用し、プラン上で応援母体と位置付けられている市、観光協会、商工会それぞれの取組み状況の把握を行うことが必要です。</p> <p>・観光振興に取り組む団体、事業所等の情報共有を行い、観光創造部会への参加を促す必要があります。</p>					

目標達成に向けての次年度以降の対応		
A (行動)	方向性	対応策等
1:計画通りに進めることが適当		<p>・長岡京観光まちづくり協議会の中核となる「長岡京市観光推進本部」において、新・長岡京市観光戦略プランの着実な進行管理を行うとともに、2020年に放送決定した大河ドラマを活用した取組みについての情報共有、市内事業所等が新たな観光商品やサービスの企画・開発を誘導する施策について検討を行います。</p> <p>・観光振興に取り組む店舗・事業所等を引き続き発掘し、既存の観光創造部会メンバーとのマッチングを行います。</p>

分野	43	産業	通番 102
施策	431	商工業・観光の振興	
5年後の目標		都市活力の基盤を守る工業が元気で、商業・観光がもたらすにぎわいと交流に、まちがさらに活気づいている。	

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目		決算額(円)	担当課	
	観光誘客のための環境整備事業		会計	款	項	49,731,102	商工観光課
			一般	7	1		
事業の概要							
観光バス駐車場(待機所)の計画的な整備や、物流・販売・にぎわい創出拠点としての農・商・観連携による「道の駅」的施設の設置検討を行うなど、観光誘客インフラ整備の充実を図ります。また、高速バス停や阪急西山天王山駅などを活用した新たな誘客・消費システムの構築に向けた各種事業の展開を図ります。合わせて乙訓二市一町や京都府北部、京都市などと「広域連携」をキーワードに広域的な事業展開を図ります。							

平成30年度の取組							
D (取組)	指標	道の駅の施設設置				単位	—
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
	庁内ワーキンググループでの検討 (平成27年度)	目標	マーケティング調査実施及び外部設置検討委員会設立	基本構想の策定及び調査設計実施	基本計画策定に向けた検討	基本計画の策定	基本計画に基づく検討
実績		長岡京市道の駅の施設整備基本構想の策定	長岡京市道の駅の施設設置検討に向けた農業関係者専門部会中間報告書の作成	長岡京市道の駅の施設設置検討に向けた農業関係者専門部会報告書の作成			
<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度に立ち上げた農業関係者専門部会の中間報告を受け、道の駅的施設の中核施設になるであろう農産物直売所に農産物を安定供給できるよう生産者組織の設立準備に向けた意識醸成を行いました。 農業関係者専門部会で検討した内容については、「長岡京市道の駅の施設農業関係者専門部会報告書」として取りまとめ、生産者組織設立に向けた準備会を設置する方針となりました。 							

施策の「5年後の目標」に対する評価			
平成30年度の達成状況			
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド
			—
	達成度合	A: 目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	<ul style="list-style-type: none"> 2年目となる農業関係者専門部会では、主に農産物直売所の運営の在り方についての共通認識を持つことができました。 農産物を安定供給できるよう生産者組織の設立が必要であり、供給可能性を調べるために生産者組織の準備会を設置する必要があるとの共通認識を持つことができました。
	課題等		<ul style="list-style-type: none"> 候補地が決定したことにより、関連する上位計画や既往調査結果、法規制等、事業化に係る前提条件の整理をし、課題となる事項の解決方法について検討する必要があります。 道の駅的施設に導入する機能(物販機能、交流機能等)の整理を行い、当該機能に求められる役割や、想定規模等について整理する必要があります。

目標達成に向けての次年度以降の対応	
方向性	対応策等
A (行動)	1: 計画通りに進めることが適当 <ul style="list-style-type: none"> 事業実施にあたっての長岡京市と民間事業者の役割分担を検討します。 事業手法の検討を行い、関連する法制度、並びに市の関連する条例、規則等を整理します。 事業実施に向けた民間事業者の提案受け入れや市場性の把握を行い、候補地での事業化の可能性の判断材料を整理します。